

飯豊山系砂防事務所
記者発表資料

発表日	平成26年 2月 12日
取 扱	本資料配付をもって解禁

「大規模土砂災害に備えた合同防災訓練」を実施します。

近年、全国各地にて地震・豪雨等による大規模な土砂災害が発生おり、国・県・市町村等が連携して、迅速で適切な対応を行うことが求められています。そこで今回、地震により関川村内において大規模な河道閉塞が発生したことを想定し、各関係機関の役割や対応等を災害シナリオに沿って質疑応答していく学習型訓練により確認するとともに、課題を抽出し災害対応力の向上を図り、災害発生時に備えることを目的として関係機関による合同防災訓練を下記のとおり実施します。

合同防災訓練概要

訓練日時: 平成26年2月14日(金)

12:50~13:00	訓練準備
13:00~13:20	開会、訓練説明
13:20~15:30	学習型防災訓練
15:30~16:00	反省会、講評
16:00	解散

会場

関川村 村民会館 大ホール
新潟県岩船郡関川村上関1285
(TEL:0254-64-2134)

見学について

訓練は公開し、会場には見学席を用意します。

訓練参加機関 : 国土交通省北陸地方整備局、飯豊山系砂防事務所
飯豊山系砂防スペシャルエンジニア
新潟県砂防課、村上地域振興局
関川村

訓練方式 : 学習型訓練形式による机上訓練

災害シナリオに沿って質疑応答していくため、各機関の災害対応等の流れがわかりやすいのが特徴です。(学習型訓練方式の詳細については別紙参照)

訓練の被災想定 : 関川村で直下型地震が発生し、震度6強を記録。村内では大規模土砂災害(天然ダム、地すべり)が発生し人家への被害の恐れがある。



昨年度(山形県小国町)の訓練風景

【問い合わせ先】

飯豊山系砂防事務所
副所長(技術) 川村修蔵
調査課長 山本敏一
TEL:0238-62-2566(代表)

訓練方式（学習型）について

別紙

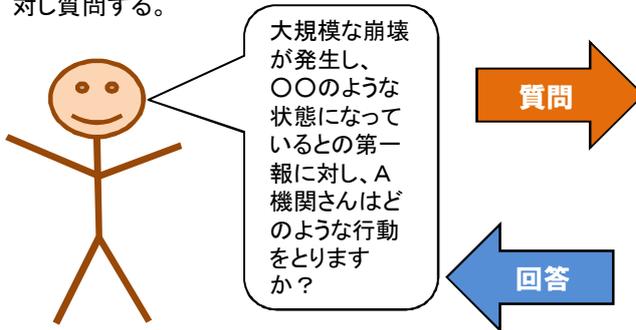
基本的な進行

「司会進行者」と「訓練参加者」にわかれる。

「司会進行者」は想定した災害シナリオに則した状況付与を行った上で、対応について質問する。これに「訓練参加者」が回答する形式で進行する。以降シナリオに沿って質問、回答を繰り返す。

司会進行者

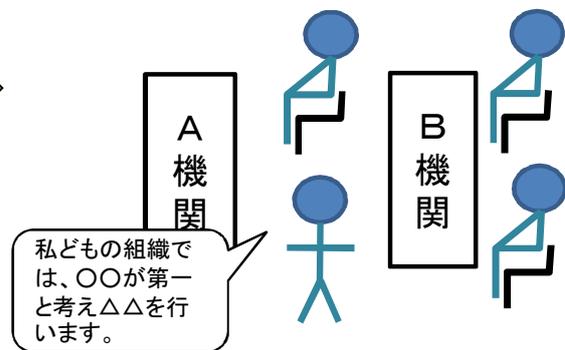
訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部もしくは災害対策支部と見立て、それぞれに対し質問する。



回答者を特定して当てることはしない。あくまでも訓練参加組織に対して質問し、組織として回答してもらう。

訓練参加者

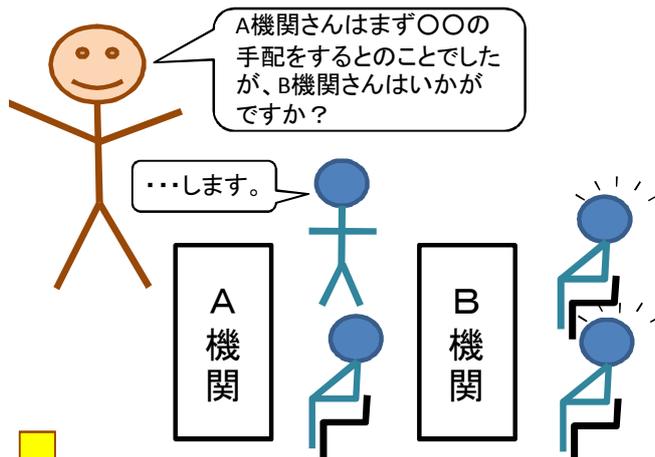
質問内容に応じて訓練参加組織内での回答者を決めて、発表する。



回答者は与えられた設問に対してその場で考え、すぐに回答してもらう（相談してもよいが時間的な余裕は少ない）。

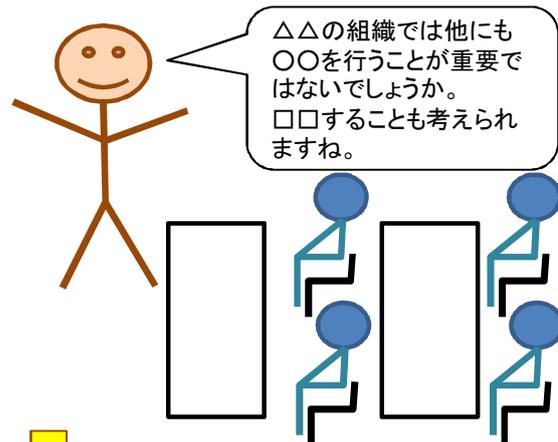
「司会進行者」は、場面に応じて他機関にも質問したり、ステージ毎の内容の総括を行ったりする。

他機関への質問



- ・特定の機関に限らず演習が可能となる。
- ・1つの場面において、複数機関の対応を参加者全員が見て考えることができる。

ステージの総括



- ・すぐに対応を振り返ることができる。
- ・回答のなかった対応方法や内容についても認識することができる。

各機関の回答を参加者全員が同時に聞くことによって、他機関がどのような対応をしているのか理解できる。同様に見学者も質問回答を聞くことができ内容を理解しやすい訓練形式となっている。